

第 1 回茅野市新地域公共交通検討会議

開 催 日 時	令和 2 年 7 月 28 日 (火) 午後 6 時 30 分から午後 7 時 40 分まで		
開 催 場 所	茅野市役所 8 階大会議室		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	9 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容 (概要)		
	第 2 回 茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。		
事務局	1 開会 これより第 2 回の会議を開催します。		
会長	2 会長あいさつ こんなに梅雨が長いというのは経験がありません。そんなお足元の悪い中お越しいただき誠にありがとうございます。今回は顔合わせと実証運行を行うということまで決めさせていただきました。今後の会議では、多くの方のご意見をお聞きすることが必要であると考えております。創意工夫をしていきながらご協力をお願いできればと思います。		
会長	3 案件 (1) 実証運行について それでは案件 (1) 実証運行について、事務局から説明をお願いします。		
事務局	6 月 18 日の第 1 回検討会議において、茅野市がこれから進んでいく新しい地域公共交通の実証運行についてご同意をいただきました。その後、運行事業者様との協議、電車通学のお子さんを持つ親御さんとの意見交換を行う中で、具体的な実証運行の運行体制について協議を重ねてまいりました。 運行事業者様と合意した内容について別紙資料 1 に基づき説明。		
事務局	オンデマンドシステムについて参考資料に基づき説明。続けてオンデマンドシステム各社比較表に基づき説明。		
会長	ご説明ありがとうございます。多岐の視点から多くのご意見をいただく中で、運行事業者様と引き続き協議をしていただければと思います。さきほどの説明について、どんなに細かいことでも構いませんので、積極的なご発言をお願いします。まずは、東海高校さんご意見をお願いします。		
委員	ハブを使った公共交通についてはいいと思います。想定されるハブまでの学生の移動手段については、自転車移動が多いと思います。ハブに自転車を置くことができるかが課題であると思います。		
事務局	ハブを設置するということで JA (ピアみどり) さんにも自転車の駐輪場に関する要望があったということを伝え、実現に向けて取り組みたいと		

	<p>思います。</p>
会長	<p>続けて茅野高校さんご意見をお願いいたします。</p>
委員	<p>通学については、自転車が多いですが、あとは電車を利用しているので、こういった新しい交通システムがあればいいなと思います。</p>
会長	<p>自分の子どもが高校生の時はお迎えがとても大変だったと記憶しています。新しい交通システムの概要が決まった際には PTA の会議でも説明をお願いします。</p>
委員	<p>特に 65 歳以上の高齢者については、スマホを持っていない方が多く、使いこなせない方も多い中でこういった新しいシステムを使いこなすことは難しいと思います。第二段階で想定していると思うが、スマホを使ったシステム利用方法をどのように周知していくのか考えていく必要があると思います。</p>
事務局	<p>スマホについては、持っているけど使えない方と持っていない方という二つのパターンがあると思います。9月から予定しているサブフレームでの対応も考えつつ、実証運行を行ってまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>高齢者の利用についてはぜひ考えていただければと思います。また、玉川地区については、朝の送迎の車両が非常に多いため、渋滞解消に向けて積極的に進めていただければと思います。</p>
会長	<p>自宅周辺のバス停には、ポケモン GO を楽しむため、スマホを持って散歩している 70 代の高齢者を多く見かける。必ずしも高齢者がスマホを使いこなせないとも言えないと思います。</p>
委員	<p>高齢者の中でも結構スマホを使っている方もいるので、どのように周知していくか考えていきたいと思います。</p>
委員	<p>私もスマホを持っているが、機能が多すぎて使い方が分かっていない状況です。現在、私自身デマンドバスを利用しています。行きは便利でとてもいいですが、帰りについては、病院の待ち時間がまちまちで読めないため、使い勝手はあまりよくないと感じている。チェルトの方の利用者の満足度は非常に高いが、乗ってもらっていない方にどのように乗ってもらうかが重要であると思います。高齢者へスマホの利用方法をどのように教えていくかが重要だと思います。</p>
会長	<p>東急の中の利用者はどのような送迎を行っていますか。</p>
委員	<p>弊社では自家用車で運行を行っています。茅野駅からタウン内であれば途中好きところで降ろすようにしているが、個々の家（別荘）まではお送りしていません。 課題としては個々の家（別荘）まで送っていけないことだと考えています。</p>

会長	<p>これから新規のお客さんに別荘を買ってもらおうということは難しいと思います。高齢になっても別荘に来てもらえるようなシステムを作るというのはひとつの課題になってくると思います。今回のシステムの中に別荘への送迎についてもうまく組み入れていければと思います。</p> <p>タクシーにタブレット端末が必要ということですが、予約が非常に込み合った場合、急遽、通常運行を行っている一般のタクシーを配車していただくことはできないのでしょうか。</p>
委員	<p>それぞれのタクシーが無線で全てコントロールされています。急遽デマンドで利用することを運転手に伝えれば通常のタクシーを配車することも可能だと思います。</p>
会長	<p>タクシーにはナビが全台付いていると思うのでそこでうまく連携していただければと思います。</p>
委員	<p>基本的には自社のシステムと同じようなものになるのかなと思います。位置情報は第一交通さんと同じように全て本社で管理しています。お客様から配車の依頼を受けた場所についてはすべてマーカーで表示されます。住宅地図情報も表示されるため、配車依頼のあった A さんの家をピンポイントで掲載することができます。ビアのシステムとの同期は仕様次第だとは思いますが、当社では現在、ビアと同じような運行をしていますので、何らかの形で連携することは十分可能だと思います。</p>
会長	<p>先の話になるかもしれませんが、利用者の方の待ち時間をなるべくなくすようなタクシーの待機場所等についても検討としていただければと思います。将来的には既存システムとビアのシステムと連携も必要であるかなと思います。</p>
委員	<p>NTT ドコモや MONET や富士通とは話をしたことがあります。各システムの仕様によっては、マッチングの良し悪しがあると思いますが、連携は不可能ではないと思っています。</p>
会長	<p>いずれにしても既得権の関係になるかもしれませんが、連携していかないと新しい時代に対応できないと思いますので、事務局との打ち合わせをしていただきながら進めていただければと思います。</p>
委員	<p>平成 22 年からデマンド交通を自社として行っているが、学生さんに乗っていただけなかったのが実情でございます。まず、2 次交通に多く乗っていただいて東口の渋滞緩和が達成できればと思います。3 次交通については、75 歳以上の方の取り込みが必要かなと思います。その対応については事務局と話をしていければと思います。ビアのシステムは乗客が少し歩くことを想定しているが、80 歳以上の方や買い物客をどこで降ろすのかについてはドライバーの判断になるかと思います。そのあたりを十分事務局と話し合っていければと思います。</p>
委員	<p>GPS の機能を使えばビアのシステムを簡単に使えると思います。GPS はスマホほど値段が高くありませんので、GPS で位置情報を察知できるよう</p>

	<p>なものを用意すれば、難しい操作をしなくても、簡単に予約することができるため、多くの高齢者にも乗っていただけたと思います。</p>
委員	<p>これからの絵は描けたと思います。これからは、本当に乗ってもらえるのが重要だと思います。現状の学生の送迎は親御さんが朝と夕方することが当たり前になっている中で、このシステムが当たり前になるようにやっていかなくてはいけないと思います。</p>
会長	<p>ここにいる皆様からのご意見を伺いながらやっていければと思います。何かいい知恵があればお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>実際何人の方が通学しているのかを把握する必要があると思います。また、新しい交通システムが不便では乗らないと思います。設定した便でどれくらいの方が利用するか予測することが重要だと思います。</p>
会長	<p>実証実験を行っていく中で、運行便数や運行時間が利用者ニーズと間違っていれば、途中で変えながらやっていかなくてはいけないと思います。途中で変更していかないと無駄にバスを動かすこととなりますので事務局としっかり打ち合わせをお願いします。</p>
委員	<p>お年寄りの方が傘をさしてバス停でバスを待っている現場を目撃したことがあります。多くの方に乗っていただくためには、工夫が必要であると思います。バスに乗ってもらいやすいようなハード整備も必要であると思います。</p>
会長	<p>私の家の近くにあるバス停は、商店街の寄付をもらいながら設置した経緯もあります。それくらいのことはしないとハード整備は難しいと思います。</p>
委員	<p>私の憶測ですが、茅野駅からハブまでの運行時間について、多くの世帯で学校終わりに塾等に行くための送り迎えがあるためニーズはあると思います。現在の学生の移動ニーズによると思いますが、終電のように遅い時間に最終バスといった形で1本だけ運行するようにしてもいいと思います。</p>
副会長	<p>高齢者の方のスマホ普及率についてはまだ課題があるのかなと思っています。例えば、貸し出しのスマホやアイパッドの貸し出しもいいのかもしいかなと思います。そういった方をターゲットにご意見をいただいてもいいかもしれないと感じます。親が子どもを送迎する中で、車中では朝ご飯を食べたり、化粧をしたりすることが想定されると思います。ハブで待っている間にちょっと食べ物が買えるようなやり方も必要だと思います。そういった発展させたアイデアも見据えながら、将来に向けたアイデアとしてはいいのかなと思いました。</p>
会長	<p>その他に何かありましたらまた事務局にご質問いただければと思います。</p>

会長	(2) スケジュールについて 次に、案件(2) スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局	今後のスケジュールについて別紙資料2に基づき説明。 第2回で実証運行の運行体制についてご同意いただき次の段階に進むつもりであったが、8月の会議の中で実証運行の進め方についてご提示できればと考えています。また、運行の周知や広報、利用促進のための方法についても併せて協議をさせていただければと思います。 9月からサブフレームの協議も進めていく中で、10月の運行に向けて進めていければと考えております。
会長	ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。
全委員	特になし。
会長	(3) その他 案件は以上になりますが、何かあればお願いします。
事務局	5 閉会 閉会のごあいさつを、副会長の高木宏明様からお願いいたします。
副会長	それぞれの立場からご意見を多く出していただきありがとうございました。コロナ等もあり、いろいろと落ち着かない世情ではございますが、お集まりいただきありがとうございました。本日はありがとうございました。
事務局	次回の会議でございますが、実証運行の周知、広報等についてご協議いただきます。多くの方にご利用いただくための最重要課題とも言える案件となりますので、引き続き貴重なご意見をお願いいたします。 次回開催日は8月下旬ご予約をお願いします。遅くともお盆過ぎにはご通知を差し上げたいと思います。
事務局	本日はありがとうございました。

以上